

令和4年度「科学技術振興に関する地域懇談会」の開催について

令和4年7月6日

科学技術振興課

1 目的

- 科学技術振興に関する施策を総合的、計画的に推進していくためには、地域において産学官金等の適切な役割分担による協働を推進していくことが重要。このため、道内6地域において産学官金等の関係者による意見交換会を定期的に行い、各地域における取組を推進するもの。
- 令和4年度は、現行の「北海道科学技術振興計画」の計画期間が満了することから、次期科学技術振興計画を中心テーマとし、意見交換を行う。

2 参集範囲 ～地域における産学官金等の関係者

- 企業・関係団体、大学・高専等、金融機関、公設試、市町村、道(振興局・本庁)
- 座長は、各地域の北海道科学技術審議会委員とする。

3 意見交換の内容

- 次期北海道科学技術振興計画について
- 「チャレンジフィールド北海道」の取組について
- 大学主体のスタートアップ系事業について（※函館地域のみ）

4 開催日程

地域	日時	開催場所	座長(審議会委員)
■函館	7月27日(水)14:00～	オンライン 開催	田柳委員(はこだて未来大教授)
■室蘭・苫小牧	7月27日(水)10:00～		吉成委員(室工大 地方創生研究開発センター)
■旭川	7月26日(火)14:00～		西川委員(旭川医大学長)
■北見・網走	7月28日(木)14:00～		内島委員(北見工大 社会連携推進センター教授)
■十勝	7月26日(火)10:00～		井上委員(帯畜大教授・学長補佐)
■釧路	7月28日(木)10:00～		中村委員(釧路公立大 地域経済研究センター長)

※各回とも、所要1時間30分程度

5 開催結果の活用

- 懇談会における意見等については、科学技術審議会では報告するとともに、次期科学技術振興計画の検討に反映する。
- また、道をはじめ関連機関の施策検討などに当たって活用する。